

“モバチュウ”で叶える！ ユニバーサルコミュニケーション

—障害者スポーツ振興を事例として—

近年、パラリンピックなどで多くの人が目にするようになった障害者スポーツ。その課題の一つに「身体障害のために遠征など長距離移動が困難で、大会に出場できない選手や応援団がたくさんいる」という点があります。そこでケータイとインターネットを活用した誰でも簡単に使えるシステム“モバチュウ”(=モバイルライブ中継の略)を開発し、遠隔地からの試合観戦や応援メッセージのやりとりなど、いつでも・どこでも“笑顔の見える”中継を可能にしたユニバーサルコミュニケーション活動の取り組みを紹介します。

日時：2007年6月5日(火) 13:30～15:00

会場：知識科学研究科 2階 K3.4教室

講演者 伊藤 数子 氏



NPO法人STAND 副代表理事
株式会社パステルラボ 代表取締役

NPO 法人 STAND (拠点：東京 / 金沢)

2005 年設立。年齢・性別・障害・職業の区別なく、すべての人が持てる力を発揮し、誇りある自立を得、ともに暮らす社会を実現するためには、互いに尊厳を持ったコミュニケーションの確立が必要であり、それをユニバーサルコミュニケーションと定義。仕事の領域や事業の枠を超えた個人や企業がそれぞれの立場で経営資源や得意分野を活かしながら、高齢者や障害者や子どもたちのより明るい豊かな生活のためのユニバーサルコミュニケーション活動を推進している。

伊藤数子氏は新潟大学工学部卒業、1991 年パステルラボ設立。ユニバーサルコミュニケーション活動とともに、コミュニケーションプランナーとして行政機関・企業におけるコンサルティングをはじめ、プロモーションの総合企画・マルチメディアコンテンツの開発等、人づくりからものづくりまでトータルにプランニングを行っている。著書(共著)に「大学は地域を活性化できるか」(中央経済社 2005 年)など。

○モバチュウによる受賞

- 金沢市 IT ビジネス大賞受賞 (2005 年)
- 総務省 u-Japan ベストプラクティス (2006 年)
- 日経地域情報化大賞『CAN フォーラム賞』受賞 (2006 年)

◇モバチュウの主な導入実績 (予定含)

- ◇日本電動車椅子サッカー協会の公式中継(2004 年-)
- ◇電動車椅子サッカー・第 1 回 FIPFA ワールドカップ 2007 (本年 10 月・東京)
- ◇平成 19 年度全国高等学校総合体育大会 2007 青春・佐賀総体

モバチュウ ってなに？

- ◇専用ホームページを開設【図 1】
- ◇試合会場ではケータイテレビ電話(テレビ電話機能付き携帯電話)で試合の様様・選手のインタビューを撮影・発信する【図 2】
- ◇出場できない選手の自宅からケータイテレビ電話で応援メッセージを発信。応援メッセージは、選手、選手の家族、サッカーを通じて交流のある小学校など多地点から発信する。
- ◇これらの中継本部に集約し、専用ホームページへリアルタイムで動画配信する。

実際に会場に行くことができないとしても、何とか自宅で試合の様子を知ることができないか、とのチームの願いを実現したのがケータイとインターネットを使った“モバイルライブ中継”です。



【図 1】「モバチュウ」専用ホームページ
(画面は試合の様子と応援メッセージ)



【図 2】試合をケータイで撮影